

次回のテーマについて

○ テーマ（案）

「家庭の経済的事情などを背景とした児童生徒の『学びのセーフティネット』の構築に向けた検討について」

（理由）

「広島県 教育に関する大綱」において、家庭の経済状況等に応じた適切な支援に取り組むこととしており、また、来年度、健康福祉局において、保護者の経済状況や生活状況が子供の生活に与える影響や、子供の生活実態、学習環境等を把握するための調査を実施する予定であること等を踏まえ、健康福祉局と教育委員会が連携し、家庭の経済的事情などを背景とした児童生徒の教育課題の克服に向けた検討を行うこととする。

（参考1）平成29年度当初予算の編成状況（要求段階）

○ 子供の生活に関する実態調査

（1）目的

子供の貧困対策の効果的な支援の在り方を検討するため、子供の生活実態や学習環境等の調査を実施し、県、市町、支援機関等の連携方策を検討する。

（2）内容

子供の生活実態や学習環境及び児童養護施設等の支援機関における支援の具体例等を把握するため、子供やその保護者、支援機関等を対象に調査を実施する。

- ・子供・保護者調査 … 子供の生活実態や学習環境を把握

（対象）小学5年生、中学2年生及びその保護者

- ・支援機関等調査 … 支援事例等の収集、課題、子供や家庭のニーズ把握

（対象）児童養護施設等の支援機関職員（社会福祉士や保健師など）等

○ 家庭の経済的事情などを背景とした「学びのセーフティネット」構築検討事業

（1）目的

すべての子供が家庭の経済的事情などにかかわらず教育機会へアクセスできる、「学びのセーフティネット」の構築に向け、今後の施策の方向性を具体化する。

（2）内容

家庭の経済的事情などを背景とした児童生徒の教育課題の克服に関わって、専門的な知見を得るため有識者からの意見聴取や、県内の実情把握のため関係団体等からのヒアリングを実施する。

（参考2）来年度の予定

| 日程 | 内容 |
|-----|---------------------------|
| 4月 | 実態調査の項目の検討 |
| 6月 | 実態調査の実施 |
| 9月～ | 実態調査の結果（速報）を踏まえた施策の検討の具体化 |